

平成28年度 東京都・渋谷区合同帰宅困難者対策訓練について

東京都は、渋谷区と合同で下記のとおり帰宅困難者対策訓練を実施しました。

1 訓練名

平成28年度 東京都・渋谷区合同帰宅困難者対策訓練

2 実施日時

平成29年 2月 7日(火) 午前9時から午後1時頃まで

3 訓練実施場所

渋谷駅周辺及び都立代々木公園

4 目的

首都直下地震(東京湾北部震源、マグニチュード7.3)により、渋谷駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したとの想定で、駅、商業施設、公共施設の管理者などが連携し、混乱の防止や安全確保に努めるなど実践的訓練を実施

5 特徴

渋谷駅前の大型ビジョン等を活用した帰宅困難者への情報提供や、帰宅困難者の渋谷駅周辺から都立代々木公園への誘導、都立代々木公園から各一時滞在施設への誘導等を実施

6 主催

東京都、渋谷区、渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会

7 主な訓練項目

(1) 一斉帰宅の抑制

- ▶ 企業における従業員の施設内待機
- ▶ 災害用伝言板等を活用した従業員とその家族の安否確認
- ▶ 駅、百貨店等による利用者の一時保護

(2) 正確で迅速な情報提供

- ▶ 鉄道の運行状況や一時滞在施設の開設状況などの情報提供

(3) 帰宅困難者の誘導

- ▶ 一時滞在施設等への帰宅困難者の円滑な誘導

(4) 一時滞在施設

- ▶ 企業や自治体による一時滞在施設の開設、運営

(5) 帰宅支援

- ▶ 災害時帰宅支援ステーションの開設
- ▶ バスによる要配慮者の埼玉県への搬送

8 参加団体等 / 規模

東京都、渋谷区、渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会、渋谷駅周辺事業者(渋谷センター商店街、商業施設、一般企業等)、鉄道事業者、通信事業者、東京商工会議所、警視庁、東京消防庁、陸上自衛隊、埼玉県ほか / 約4,300名

9 訓練の様子



ハチ公前広場にて発災



駅前のデジタルサイネージによる
情報発信(5ビジョン)



「おもてなしガイド」による
外国人への情報発信
【渋谷センター街】



家族との安否確認の実践
【一時滞在施設(渋谷ヒカリエ)】



駅利用者保護訓練
【東急電鉄渋谷駅構内】



バスによる要配慮者の
埼玉県への搬送訓練
【代々木公園】